

「ともに生きよう。ともにつくりよう。障壁のない世界。」

1 開催趣旨

北海道では、平成21年に「北海道障がい者条例」を制定し、これまで、障がいのある人もない人も暮らしやすい地域づくりに取り組んでまいりました。一方、札幌市では、現在策定している「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」において、誰もが多様性を尊重し、互いに手を携え心豊かにつながり、双方向に支え合うことを「ユニバーサル（共生）」として、まちづくりの重要概念に掲げております。

国においては、平成28年4月に障害者差別解消法が施行され、障がいのある人も含めた国民一人ひとりが、各々の立場において自発的に、障がい者差別解消の推進に寄与することが求められており、令和6年4月には民間事業者による合理的配慮の提供が法的義務化されるなど、障がいのある方について知ることや、その方々が様々な困難に直面していることへの気づきが益々重要となっております。

こうした状況の中、障害者差別解消法の趣旨について、より多くの方に知っていただき、障がいのある方もない方も、ともにここ札幌市ひいては北海道で暮らしていくため、お互いのできることを考える、そのようなきっかけにすることを目的として、本フォーラムを開催いたします。

2 主催

北海道・札幌市

3 開催日時・会場等

- (1) 日時 令和5年11月17日（金） 15:30～18:00
- (2) 会場 札幌エルプラザ 3階ホール（札幌市北区北8条西3丁目）
- (3) 定員 220名

4 対象

どなたでも参加可能（無料）

5 開催内容

15:30 開会、主催者（15時受付開始）

15:40 基調講演「コープさっぽろの取り組み～障がいのある方に対する合理的配慮～」

講師：伊藤 大介 氏（生活共同組合コープさっぽろ管理本部 人事部 S雇用グループ障がい者サポートマネージャー）

16:30 ～休憩～

16:40 パネルディスカッション テーマ「私にとっての生きづらさ～それぞれの障がいと現在の活動～」

座長：橋本 達志 氏（日本医療大学総合福祉学部ソーシャルワーク学科 助教）

パネリスト：渡邊 貢 氏（元NPO法人自立生活センターさっぽろ【パーソナルプランさっぽろ】相談員）

遠藤 信一 氏（社会福祉法人あむ 相談室ほぼ ピアサポーター）

中島 邦宏 氏（ほかほかハートのつどい 会長）

いちこ 氏（社会福祉法人はるにれの里 相談室ぼらりす ピアサポーター）

増田 靖子 氏（一般財団法人 北海道難病連 代表理事）

18:00 閉会

6 申し込み方法

- (1) 令和5年(2023年)10月24日(火)までに①インターネット(申し込みフォーム使用)又は②ファックス(添付の申込書使用)、のいずれかの方法でお申し込みください。
- (2) 車いすの方、手話通訳が必要な方、要約筆記が必要な方、点字の資料が必要な方、介助者の席が必要な方などは、申込時にその旨をお知らせください。
- (3) 定員を上回る申し込みがあった場合は、別途調整するほか、申込締切日前に申し込みを締め切らせていただく場合がありますので、ご了承ください。

7 申込み・問い合わせ先

北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課地域支援係 (担当：十文字)

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL 011-231-4111 (内線25-731) FAX 011-232-4068

URL <https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=HZWZIn67> (申し込みフォーム)

もうしこみしょ
FAX 申込書

あて先：011-232-4068【送信票等は不要です。】

ほっかいどうほけんふくしぶふくしきょくしょう しょうけんふくしかちいきしえんがかり じゅうもんじいき
北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課地域支援係 十文字行

しょうがいしゃさべつかいしょうほう どうみん さっぽろ つぎ もうこ
「障害者差別解消法 道民フォーラム in 札幌」に次のとおり申し込みます。

しめい 氏名（ふりがな）	
ゆうびんばんごう 郵便番号	
す しくちょうそん お住まいの市区町村	
でんわばんごう 電話番号	
ばんごう ファックス番号	
メールアドレス	
ひつよう はいりよ あ 必要な配慮（当てはまるもの のに○をつけてください。）	くるま りよう かいじょしゃどうこう しゅわつうやく ようやくひっき 車いす利用 介助者同行 手話通訳 要約筆記 てんじ しりょう つ しりょう さんしよく 点字の資料 ルビ付きの資料 三色カード その他（ ）
その他	